



発行所
 社団法人 全国珠算教育連盟
 **青森県支部**
 所在地 三沢市中央町4丁目4-6
 ☎0176 (53) 3662
 支部長 齋藤 隆
 責任者 福士隆行

三沢市長に小学生日本一を報告 …全日本珠算選手権大会…

平成24年度全日本珠算選手権大会で小学生日本一に輝いた齋藤俊君(三沢市立木崎野小学校5年)が8月28日、三沢市役所を訪れ種市一正三沢市長に日本一を報告しました。齋藤隆支部長が、面談許可のお礼と結果を報告「全日本珠算選手権大会は国内では規模、難易度において最高レベルの大会とされている。その大会で、これまでの小学生最高得点を大幅に上回り全体でも3位となる素晴らしい成績をおさめた。まだ5年生なので来年は『小学生そろばん日本一』の連覇を期待している」と話しました。種市市長は「俊君の努力に敬意を表す。師弟が一体となって頑張った結果が出た。私も三沢市民として誇りに思う。連覇めざして、さらに技能を伸ばしてほしい」とたたえました。



< 俊くんの実技を見て、驚く市長 >



< 今後の活躍を誓い、市長と握手する俊君 >

俊君は市長の前で実技を披露、段位暗算検定の除算問題を五十秒足らずで全問正解して市長を驚かせ「次は満点を目標に練習したい」と力強く抱負を語りました。

平成24年度支部通常総会 …青森・浅虫観光ホテルにて開催…

平成24年度支部通常総会が、8月19日(日)、青森市「浅虫観光ホテル」において開催されました。会員66名が出席し午後1時に開会。全珠連歌の斉唱、支部長挨拶の後、今年度の会員表彰が行われ、本部表彰22名、支部表彰5名の先生方が受賞されました。議長選出の後、議案の審議にはいり第1号議案「平成23年度事業報告ならびに収支決算の承認を求める件」について、支部長、各執行部長より説明・報告があり拍手をもって承認されました。第2号議案「公益社団法人全国珠算教育連盟の最初の代議員の選出」では齋藤隆支部長と福士隆行副支部長の2名が選出されました。協議報告事項では、第40回東北七



< 踊りも加わり華やかになった、三沢地区のスコープ三味線 >



< カラオケ大会で優勝した西北五地区の坂田貞子先生 >

県珠算競技大会(8月3日・宮城県松島町で開催)で本県勢が団体競技で10年連続の全部門優勝を成し遂げたこと、全日本珠算選手権大会(8月8日・国立京都国際会館)で齋藤俊君(三沢市立木崎野小5年)が小学生日本一に輝いたことが報告されました。休憩後に開催された「珠算指導者講習会」は、第一講座が能登金文研教部長による「開平の指導法」第二講座は齋藤隆支部長による「開立の指導法」で久しぶりに珠算指導分野の講習会となりました。恒例の懇親会は午後6時に開始。今回は青森地区主催による「カラオケ選手権大会」を開催、各地区代表12名(組)が優勝めざして熱唱しました。出席者全員が審査員となって歌や演出のうまさ、盛り上げ度をチェックし投票した結果、西北五地区の坂田貞子先生が2位以下に大差をつけて第1回?チャンピオンに輝きました。

 **検定試験 十段合格者** 

- ◆348回検定試験(平成24年3月18日施行)
暗算十段位 甲地 優花 (三沢地区)
- ◆350回検定試験(平成24年7月15日施行)
暗算十段位 山崎 葵生 (十和田地区)
- 〃 坂岡 祐奈 (高校)

第三回 人材育成講習会に参加して

文章：南黒地区 須藤亨仁

昨年の東日本大震災からはや一年、延期になった人材育成講習会によようやく参加させていただくことができました。実は、今回の講習会に参加させていただけるという話は母である副支部長から内々でいただきました。しかし、二つ返事では参加の意思をつたえることはできませんでした。というのは、移動も考慮して最低3日間は（今回は4日間でしたが）塾を休まなければならなかったからです。まだまだ珠算教師として未熟な自分です。予定外の長期の休みを設けることは非常に不安なものです。そこで、大変失礼なことではありますが第一回と第二回に参加された、当青森県支部の大先輩に率直に聞きました。質問の内容は、①講習会の内容②参加するべきであるか（本当にすみません）です。お二方には非常に親身、かつ明快な回答をしていただき、すぐに参加することを決定することができました。

さて、講習会の半年くらい前でしょうか、本部から参加者名簿が送られてきました。参加者のほとんどが各支部の役員です。名前の感じからして、明らかに自分の親より上の年齢であろうことが推測される人が多いのです。よく言えば「生涯勉強」、悪く言えば「珠算界の高齢化」が一目でわかる参加者名簿です。そのような大先輩方の中に混じって講習をうけることに、やはり不安を覚えたものでした。

さらに2～3ヵ月後、自己紹介時の支部自慢をする際の資料提出をもとめる案内が届きました。必要部数に驚愕しました。本件は強制ではないような記載であったため、自分は見なかったことにしました。しかし実際の支部自慢ではみなさん手の込んだ資料を作ってきて、多少後悔しました。また、制限時間ピッタリで終わった先生もいらっしゃっていて、「すごい」の一言です。だいぶ練習されたのだろうと思い、頭が下がりました。

京都は高校の修学旅行以来です。高校のときは3段の寝台列車で関西まで移動したのを覚えています。そのときは、狭くて揺れるために満足に眠ることができなかったため、寝台列車は乗るものではないと、心に決めていたものです。しかし、今では寝台列車に乗るのが楽しみになっています。理由はゆっくりできるから。新幹線や飛行機であつという間に着くのもいいのですが、10時間以上車内にいるということは、ある意味特別な時間です。

よって今回の移動は夕方の19時に青森を立ち、次の日の7時に上野駅に到着、東京で朝食をとり、その後京都市行きの新幹線に乗り約3時間の移動という合計移動時間



<臨時総会で報告する
須藤亨仁先生>

19時間という「超ゆっくりプラン」でした。

講習会場のビジネスホテルはいつも本部で行われる会合で利用されるところであるとのことで、非常に興味深く思っていました。「支部長はどれだけすごいところに宿泊されているのだろうか」というような思いです。しかし、何のことはない普通のビジネスホテルでした。一階のレストランが「ガスト」だっただけですこし驚きました。さらに、朝食のバイキングをガストで食べるということだけでいささかショッキングでした。

いざ講習会です。第一講座は梶川理事長による「全珠連史」で、正直なところ、この第一講座が私にとっては一番胸に残る内容でした。私は親が珠算教師ですので珠算検定、全珠連というものは存在して当たり前という感覚です。今でもまったくそのような考えはないとは言えないと思います。理事長から御教授いただいた内容は、全国珠算教育連盟が生まれるところからでしたので、自分の中には無い新しい何かを得た思いがしました。

珠算団体の設立は何もない状態からの組織の構築ですので、表にはでてこない数々の苦労があったのだということを知ることができました。ただ、細かい内容は頭に叩き込むことはできませんでしたので、「苦しかったみたいだな〜」くらいにしか捉えてはいません。思い出したときにもう一度、テキストを見直したいと思います。

講習で作られた班による討議にも熱が入りました。不本意にも班長になってしまい、先輩方に指示を出すことになってしまったのですが、やはりみなさん大ベテランばかりです、珠算の話をする止まりようがありません。大変失礼とは思いつつも、はなしの腰を折って議題に戻すということをなんどもすることになりました。議題は「3級の指導方法」で「理解の遅い生徒に対する」という条件付でしたが、このような課題は誰が、どのような思いから作られたのかが興味深く思われました。

非常に少数ではありましたが、同年代の先生も出席されていまして一緒にお酒を飲む機会をいただきました。ここで事件が起きました。お店があるという繁華街まで歩くこと10分、ちょっと余所見をしているうちに京都駅付近で、私は迷子になってしまったのです。迷子になったのは30年ぶりくらいでしょうか。弘前市のイトーヨーカドーで兄にエスカレーターで置き去りにされ、やたら泣いていたのを京都駅で思い出しました。今の時代携帯電話がありますので、大事には至らなかったのですが、「須藤先生確保！」と他の先生にからかわれて楽しかったです。

夜の京都はホテルの門限の都合上、居酒屋で終了したので、同志とのさらに深い思い出を作ることができなかったのが心残りでした。しかし、間違いなく今までにはない刺激を受けることができ、珠算に対する情熱を熱いものにできた実感しました。研修の最後に岡久先生が仲間について論じられておりましたが、なるほど今思い返して納得です。